

たった今、停電したら・・・

2004年3月



2003年8月14日米国東部夏時間の午後 4:00 過ぎに、米国の北東部とカナダの東部で大規模な停電が発生し、約5000万人に影響を及ぼした。原因の究明と解決策の決定は残されたままだったが、その影響は差し迫った深刻なものであった。

この大惨事について、あることを忘れていたようである。それは化学プラントや石油化学プラントからの壊滅的な毒性化学物質の放出がなく、大火災や爆発もなかったことである！

自分のプラントは安全か？

自分のプラントも大丈夫か？

停電時にプラントの安全を保つため、あなたにできること



調査—このことを知っているか確かめること

- どの計装機器と装置が緊急動力システムでバックアップされているか、されていないかを調べる。制御が停止した時に、それを補う方法を知っておくこと。
- 非常用電源システムの操作説明書を見直すこと。それが何時間程度の運転ができるか知っておくこと。緊急用発電機がある場合は、操作説明書があるか、燃料と運転に必要なその他の器具があるかを確認すること。
- 重要な計装機器と装置の電源喪失時の状態を知ること。おそらく殆どはフェイルセーフの状態になるように設計されているだろうが、そうでない場合は、何をすべきかを記した指示書を持つべきである。



再計画—何をすべきかをよく考えること

- 動力源が停止したら、即座に実施すべき第1、第2、第3のことを考えること。これらが潜在的な緊急事態に対応しており、プラントが安全であることを確かめること。
- しなければならない電話や通報について熟知し、素早くする方法を知っておくこと。
- 実行できるように緊急対応計画と緊急時の手順を見直すこと。
- 停電後の再起動中に事故が発生する可能性が高い。安全に再起動する手順を知っておくこと！



実行—現場を歩き、なすべきことについて議論を尽くすこと

- 同僚と何をなぜするかについて議論すること。動力源喪失に対応する共通の計画を展開すること。すべての警報が一度に鳴った時の対応方法を知ること。
- もしできるなら、緊急時の発電機テストを含む動力源喪失時の訓練を指導するか参加をすること。もしそれが不可能ならば、頭の中で動力源喪失時の模擬訓練をすること。

突然の停電には驚くかもしれない。停電時の自分の役割を知っておくこと！